

# 桜井保健所における母子保健の取り組み

～母児が地域で健やかに安心して暮せることをめざして～

# 母子保健の課題

孤立化

少子化

虐待

◆妊娠の早期における支援（母子手帳交付時等）を充実する。

◆ハイリスク母児について、医療機関及び市町村保健所が相互に情報を共有でき、具体的な支援につなげることができる。

連携会議の必要性

# 桜井保健所の取り組み(平成18~20年度)

## <課題>

- ・医療機関から市町村へいつの時点で、どこの誰に連絡をとっていいのかわからない。
- ・医療機関と市町村、それぞれの機関に妊婦に対する情報量が少なく、ハイリスク母児のとらえ方が違う。

## <取り組み>

### ・産科医療連携会議(7か所)・・・各医療機関に出向き開催

出席者:医療機関(医師・看護師・助産師)市町村及び保健所保健師

内 容:意見交換

- ・養育支援が必要な要素の項目の提示
- ・情報先の提示
- ・具体的な方法や医療機関や保健所、市町村それぞれが実施しているサービスについて

# 桜井保健所の取り組み(平成21～22年度)

## <課題>

- ・医療機関から連絡のあったハイリスク母児の関わりについて妊娠届け時に把握したい情報が統一されていない。(虐待予防の視点が薄い)
- ・市町村から医療機関への情報提供の様式が決まっていない。

## <取り組み>

- ・母子保健推進会議に名称変更

出席者:医療機関(医師・看護師・助産師)市町村及び保健所保健師

内 容:意見交換

- ・妊娠届け時のリスクアセスメント項目の検討
- ・情報提供書の様式についての検討
- ・こども家庭相談センターによる「児童虐待と予防的支援について」の講演会開催

## 桜井保健所の取り組み(平成23年度)

### <課題>

- ・医療機関と市町村の情報の共有と効果的な情報の提供が不十分であった。
- ・リスクアセスメントのエビデンスを十分理解していない。そのため、担当者によって聞く内容にばらつきがでる。

### <取り組み>

- ・母子保健推進会議開催

出席者:医療機関(医師・看護師・助産師)市町村及び保健所保健師

内 容:意見交換

- ・妊娠届け時のリスクアセスメント項目見直しと検討
- ・情報提供書の様式についての活用促進の意義の再確認
- ・産婦人科医師による講演会開催

テーマ「妊娠期における保健指導の重要性」

ーハイリスク母児の早期発見と予防のためにー

# 医療機関から管内市町村へハイリスク母児にかかる情報提供

(H20～H22年度の種別件数)

年度	医療機関からの情報提供数			対応後、市町村から医療機関への報告数	母子手帳交付時に要支援者として把握していた数
	実件数	内訳(延件数)			
H20	21	A こどもの状況	12	8	8
		B 養育環境	5	5	4
		C 養育者の状況	8	4	1
H21	30	A こどもの状況	5	5	1
		B 養育環境	3	3	1
		C 養育者の状況	22	18	5
H22	27	A こどもの状況	10	8	3
		B 養育環境	7	7	3
		C 養育者の状況	17	16	5

## <効 果>

### ◆情報提供数 :

H19(8件)→ H20(21件)

→ H21(30件)→ H22(27件)

◆リスクアセスメント項目を使って妊婦にできるだけ面接できるように体制整備を考えた市町村が増えた。

妊娠届出時面接における情報提供書

平成 年 月 日

殿

市町村長

下記のとおり、妊娠届出時面接において、把握した情報を提供します。  
については、今後の妊産婦指導にて役立てていただきますようお願いいたします。

妊娠届出年月日：平成 年 月 日（場所： ）  
妊婦名： 生年月日：平成 年 月 日（ 歳）  
住所： 電話：

<情報提供の内容>

※該当する項目に、○印をしています。

若年妊娠 シングルマザー

多胎

現在、(疾患名： )で治療中である

今回の妊娠について  
(どちらともいえない・ややうれしくない・うれしくない)

悩みを相談できる人がいない

外国人：日本語の支援が必要

心配事がある  
具体的には

その他

上記、情報について、医療機関あてに提供することに同意します。

署名：

問い合わせ先：〇〇〇市〇〇〇課  
担当者名  
電話：

## 妊娠届出時面接等における情報提供書

〇〇産科医療機関 殿

〇〇〇市町村長

下記のとおり、妊娠届出時面接等において、把握した情報を提供します。  
については、今後の妊産婦指導に役立てていただきますようお願いいたします。

妊娠届出年月日：平成 年 月 日（場所： ）  
妊婦名： 生年月日：平成 年 月 日（ 歳）  
住所： 電話：

<情報提供の内容>

### ※情報提供についての本人の同意

①妊娠届け時のアンケートに、妊婦の同意を得ておく場合、本情報提供書に、本人の同意は必要ない。②アンケートを添付しない、アンケートに同意を得ない場合、本情報提供書に同意を得る。

上記、情報について、医療機関あてに提供することに同意します。

署名：

問い合わせ先：〇〇〇市〇〇〇課  
担当者名：  
電話：

# 妊娠届け時面接におけるリスクアセスメント項目

	番号	項目	理由	
母子健康手帳の交付	1	届出週数（22週以降）	望まない妊娠（人工妊娠中絶が不可能になる時期：22週以降） 母子手帳交付が遅いと妊娠中のサービスを受けることができず、健康管理が不十分。	
	2	母親以外に交付	母の就業状況、体調、妊娠に対する意識の低さなどが想定される。	
今回の妊娠	3	今回の妊娠について：望まない妊娠・予期しない妊娠（どちらともいえない・ややうれしくない・うれしくない）	胎児や出生後の児との愛着形成が不十分	
家族等	4	未婚、内縁などの婚姻形態	経済的基盤が脆弱・望まない妊娠・育児不安	
	5	ひとり親家族	家族の関係性（孤立化・複雑化）・地域での孤立化	
	6	妊娠中の児のきょうだいの状況	妊娠中の児のきょうだいの障がいの有無・育児困難	
母親について	7	若年（20歳未満）	妊娠・出産に関する知識が乏しい・育児不安・養育能力の低さ 望まない妊娠・低出生体重児・相談機関を知らないことでの孤立化	
		高年（35歳以上・不妊治療）	婦人科疾患合併・婦人科以外の疾患のリスク増加 妊娠・出産への不安・就業中断による孤独感やストレスなど	
	8	外国人	習慣や言葉の違いによる不安・社会的孤立 相談機関を知らないことでの孤立化	
	9	疾患や障がいの有無	慢性疾患	内服薬の胎児への影響・出産への不安・体調の変化で慢性疾患増悪
			精神的障がい	精神疾患：産褥期に精神的不安さを増し再燃しやすい。
			知的障がい	知的課題がある場合：養育能力の低さ・妊娠出産のイメージがないため、健康管理が不十分。
			精神的な不安定さあり	虐待・養育不全による愛着障害
	10	実母との関係	母の生育歴（実母との関係・祖父母に育てられたなど）・被虐待歴（虐待は実母からが多い）	
	11	悩みの相談相手なし	家族や社会での孤立化・家族の関係性	
	12	心配事（内容により対応）	精神的不安	
13	喫煙あり・飲酒あり	胎児への喫煙・飲酒による健康被害への認識や関心が不十分		
妊娠・分娩歴	14	多胎	低出生体重児・出産時の異常へのリスクや不安・育児不安	
		多産	妊婦健診未受診のリスク・妊娠と育児による心身の負担増	
		流産・死産		
その他	15	経済的問題あり	妊婦健診未受診・妊娠中の健康管理が不十分・身体的・精神的負担	
	16	母児へのDVあり	児への虐待に対する抑止力が働かない・家族の関係性（支配-被支配の関係性）	
	17	きょうだいへの（養育者による）虐待あり	（※流産・早産・妊婦健診未受診など）	
	18	産後の家事や育児を手伝う人がいない	育児への不安・ストレス・家族の関係性	

## <効 果>

◆リスクアセスメント項目についてはエビデンスを理解して使用している市町村が増えた。

◆情報提供書については電話連絡が多く、提供書を使用していない。

・会議後は医療機関とは連絡を取りやすくなった。

## 今後の課題

- ・市町村と医療機関との効果的な連絡調整の確立
- ・情報提供書の積極的に活用しやすくするための要因の検討、実践
- ・リスアセスメント票の項目の検証